

1. 科目名 (単位数)	ソーシャルワークⅡ (4単位)	3. 科目番号	SSMP2156 SCMP2356
2. 授業担当教員	水島 正浩		
4. 授業形態	講義、グループディスカッション、発表、ロールプレイ	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>ソーシャルワークⅡは、ソーシャルワークⅠで学習したソーシャルワークの基本的考え方、専門職倫理などを前提として、個人、家族、集団、また地域社会といったクライアント・システムに対し、社会福祉士がソーシャルワーカーとして提供する専門知識と技術について学んでいく。</p> <p>特に、分野を問わずソーシャルワーク実践に不可欠なソーシャルワークプロセス（相談援助の展開過程）についての理解促進を軸に、その過程において必要とされる面接技術や記録技術、アウトリーチや交渉といった専門知識と技術について学習する。なお、本講義は社会福祉士国家試験の「相談援助の理論と方法」に該当する科目である。</p>		
8. 学習目標	<p>下記の目標を達成することが期待される</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「相談援助」について理解を深めるとともに、その構造と機能について理解する。</li> <li>2. 人と環境の相互作用について理解する。</li> <li>3. 相談援助における援助関係について理解する。</li> <li>4. 相談援助の展開過程において、各過程の目的、方法（技術）について理解する。</li> <li>5. アウトリーチの目的、方法について理解する。</li> <li>6. 相談援助における面接技術について理解する。</li> <li>7. 相談援助における記録技術について理解する。</li> <li>8. 相談援助における交渉技術について理解する。</li> </ol>		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の理解度をみる課題を授業内で複数回行う。</li> <li>＊その他授業の進行状況に応じて指示します。</li> </ul>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 社会福祉士養成講座編集委員会 『相談援助の理論と方法Ⅰ（新・社会福祉士養成講座7）』第3版、中央法規出版、2015年。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・8つの目標について理解し、説明することができたか。(知識・理解)</li> <li>・8つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践)</li> <li>・8つの目標について関心を深め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度)</li> </ul> <p>○評定の方法 レポート課題 (25%) 定期試験 (50%)、受講態度 (25%) による総合的評価</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>ソーシャルワークⅡはこれから社会福祉士・社会福祉の専門職になるために必要な理論や実践技術修得の基礎となる科目です。そのため、授業への出席、熱意ある参加、ディスカッション・作業、レポート作成などへの積極的な取組みを望みます。授業の進捗状況・理解度にあわせ、順番等を変更する場合があります。</p>		
13. オフィスアワー	<p>授業内（初回授業）に通知します。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業内容と進め方について	事前学習	教科書の「はじめに」を読み、学習内容の全体的なイメージをつかんでおく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第2回	第1章 相談援助とは	事前学習	教科書の第1章 (pp. 1～25) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第3回	第2章 相談援助の構造	事前学習	教科書の第2章 (pp. 27～51) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第4回	第2章 相談援助の機能	事前学習	教科書の第2章 (pp. 27～51) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第5回	第3章 人と環境とは	事前学習	教科書の第3章 (pp. 53～66) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第6回	第3章 人と環境の相互作用	事前学習	教科書の第3章 (pp. 53～66) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。

第7回	第4章 相談援助における援助関係とは	事前学習	教科書の第4章 (pp. 67～90) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第8回	第4章 相談援助における援助関係①—技術—	事前学習	教科書の第4章 (pp. 67～90) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第9回	第4章 相談援助における援助関係②—実践—	事前学習	教科書の第4章 (pp. 67～90) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第10回	相談援助とは何かに関する考察：課題①	事前学習	これまでの内容について、重要な点の再確認をしておく。
		事後学習	ここまでの内容について整理し、理解を深める。
第11回	第5章 相談援助の展開過程Ⅰ	事前学習	教科書の第5章 (pp. 91～130) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第12回	相談援助の展開過程①(ケースの発見)	事前学習	教科書の第5章 (pp. 91～130) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第13回	第7章 相談援助のためのアウトリーチの技術	事前学習	教科書の第7章 (pp. 149～159) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第14回	相談援助の展開過程②(インテーク)	事前学習	教科書の第7章 (pp. 149～159) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第15回	第9章 相談援助のためのアセスメント技術	事前学習	教科書の第9章 (pp. 175～198) 12章～14章 (pp. 243～310) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第16回	相談援助の展開過程③(アセスメント)	事前学習	教科書の第9章 (pp. 175～198) 12章～14章 (pp. 243～310) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第17回	第12章～14章 相談援助のための面接・記録・交渉の技術	事前学習	教科書の第9章 (pp. 175～198) 12章～14章 (pp. 243～310) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第18回	相談援助の展開過程③(マッピング)	事前学習	教科書の第9章 (pp. 175～198) 12章～14章 (pp. 243～310) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第19回	第8章 相談援助のための契約の技術	事前学習	教科書の第8章 (pp. 161～173) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第20回	相談援助の展開過程④(プランニング)	事前学習	教科書の第8章 (pp. 161～173) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第21回	第10章 相談援助のための介入の技術—相談援助の展開過程⑤(インターベンション)	事前学習	教科書の第10章 (pp. 199～215) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第22回	相談援助の展開に関する考察①：課題②	事前学習	これまでの内容について、重要な点の再確認をしておく。
		事後学習	ここまでの内容について整理し、理解を深める。
第23回	第6章 相談援助の展開過程Ⅱ	事前学習	教科書の第6章 (pp. 131～147) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第24回	第11章 相談援助のための経過観察・再アセスメント	事前学習	教科書の第11章 (pp. 217～242) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。

第 2 5 回	相談援助の展開過程⑥ (モニタリング)	事前学習	教科書の第 11 章 (pp. 217～242) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 6 回	第 1 1 章 相談援助のための効果測定・評価	事前学習	教科書の第 11 章 (pp. 217～242) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 7 回	相談援助の展開過程⑦ (エヴァリュエーション)	事前学習	教科書の第 11 章 (pp. 217～242) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 8 回	相談援助の展開過程⑧ (ターミネーション)	事前学習	教科書の第 11 章 (pp. 217～242) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 2 9 回	相談援助の展開過程⑨ (アフターケア)	事前学習	教科書の第 11 章 (pp. 217～242) を読み、理解を進めておく。
		事後学習	授業中に読解した内容や行った作業・演習等についての要点をまとめる。
第 3 0 回	相談援助の展開に関する考察② : 課題③	事前学習	これまでの内容について、重要な点の再確認をしておく。
		事後学習	ここまでの内容について整理し、理解を深める。
期末試験			